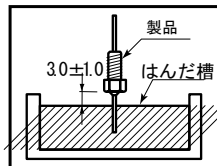


## 性能及び試験方法

### ■性能及び試験方法(貫通形EMIフィルタ)

項目	規格	試験方法																		
耐電圧	異常なく耐えること	定格電圧 DC400V未満: 定格電圧の2.5倍を1~5秒間印加する。 定格電圧 DC400V以上: 定格電圧の2倍を1~5秒間印加する。																		
絶縁抵抗	10000 MΩ以上	定格電圧を60±5秒間印加する。																		
温度特性	容量変化率 CG:0±30ppm/°C B:±10% D:+20, -30% E:+20, -55% F:-30, -80% R:±15% S:±22% SL:+350~-1000ppm/°C	印20°Cを基準として、規定温度範囲#内における最大の容量変化率を表す。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>#</th> <th>CG, R</th> <th>B, D, E, F, S, SL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>+ 125°C</td> <td>+ 85°C</td> </tr> <tr> <td>最低使用温度</td> <td>- 55°C</td> <td>- 25°C</td> </tr> </tbody> </table>	#	CG, R	B, D, E, F, S, SL	最高使用温度	+ 125°C	+ 85°C	最低使用温度	- 55°C	- 25°C									
#	CG, R	B, D, E, F, S, SL																		
最高使用温度	+ 125°C	+ 85°C																		
最低使用温度	- 55°C	- 25°C																		
はんだ濡れ性 (端子)	浸した部分の3/4以上が新しいはんだで覆われていること	245°C±3°Cのはんだ槽に3.0±0.5秒間浸す。 フラックス: ロジン/IPA(25wt%)																		
シールの締め付け	異常のないこと	ナットを用いて、下表のトルクで締め付ける。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>締め付けトルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FTA30, FTB30, FTA32</td> <td>0.294N・m</td> </tr> <tr> <td>FTT30</td> <td>0.294N・m</td> </tr> <tr> <td>FTA35, FTP30</td> <td>0.490N・m</td> </tr> <tr> <td>FTA41, FTA4D</td> <td>0.588N・m</td> </tr> <tr> <td>FTT4C</td> <td>0.392N・m</td> </tr> <tr> <td>FTP40,FTT40,FTT41,FTB50</td> <td>0.588N・m</td> </tr> <tr> <td>FTA5B,FTA5C,FTA5D,FTB61</td> <td>0.588N・m</td> </tr> <tr> <td>FTP82</td> <td>0.735N・m</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	締め付けトルク	FTA30, FTB30, FTA32	0.294N・m	FTT30	0.294N・m	FTA35, FTP30	0.490N・m	FTA41, FTA4D	0.588N・m	FTT4C	0.392N・m	FTP40,FTT40,FTT41,FTB50	0.588N・m	FTA5B,FTA5C,FTA5D,FTB61	0.588N・m	FTP82	0.735N・m
タイプ	締め付けトルク																			
FTA30, FTB30, FTA32	0.294N・m																			
FTT30	0.294N・m																			
FTA35, FTP30	0.490N・m																			
FTA41, FTA4D	0.588N・m																			
FTT4C	0.392N・m																			
FTP40,FTT40,FTT41,FTB50	0.588N・m																			
FTA5B,FTA5C,FTA5D,FTB61	0.588N・m																			
FTP82	0.735N・m																			
端子曲げ	異常のないこと	根本より45° 曲げて元に戻し、さらに逆方向に45° 曲げて元に戻す。																		
端子引っ張り	異常のないこと	シールを固定し、各端子の軸方向に2.0±0.3kgの静荷量を10±1秒間加える。																		
耐振動	異常のないこと	下記の可変振動をXYZ方向に各2時間加える。 周波数: 10~55~10Hz 1分間 周期: 1.5mm p-p 周波数変化の周期: 1分																		
はんだ耐熱性	外観	著しい変化のないこと																		
	静電容量変化率	±15%以内																		
	静電正接	3.5%以下																		
	絶縁抵抗	5,000MΩ以上																		
温度サイクル	外観	著しい変化のないこと																		
	静電容量変化率	±20%以内																		
	静電正接	5%以下																		
	絶縁抵抗	1,000MΩ以上																		
高温負荷	外観	著しい変化のないこと																		
	静電容量変化率	±20%以内																		
	静電正接	5%以下																		
	絶縁抵抗	1,000MΩ以上																		
耐湿負荷	外観	著しい変化のないこと																		
	静電容量変化率	±20%以内																		
	静電正接	5%以下																		
	絶縁抵抗	1,000MΩ以上																		

端子の長さ3mmのところまで  
はんだ槽に入れ、10秒間保持する。  
測定は4~24時間放置後行う。  
はんだ槽温度: 300±3°C



段階	下限温度	30分
段階1	下限温度	30分
段階2	常温	5分
段階3	上限温度	30分
段階4	常温	5分

右表に示すサイクルを連続25サイクル行った後、試験層から取り出し、4~24時間室温放置した後電氣的特性の測定を行う。